

ひと・ふれあいセンター

☎072-422-7523

▶申込 窓口・電話・メールで(多数の場合は抽選)

レザークラフト講座

好きなカラー(黒・赤・茶・紺・カーキ・キャメル)を選んでキーケースを作りましょう!

▶日時 11月30日(木)午前10時~正午



メール



午▶講師 谷川千恵子様(クラフトデザイナー)▶定員 15人▶材料費 2,000円▶締切 11月20日(月)

クリスマスアレンジ講座



▶日時 11月28日(火)午後7時~9時▶講師 阪口まき様(日本フラワーデザイナー1級講師)▶定員 10人▶材料費 2,000円▶持物 ハサミ、持ち帰り袋▶締切 11月20日(月)



メール

ウトロ平和祈念館を訪ねて

ウトロ地区の歴史を通して、在日コリアンの歴史と現在、未来について考えます。

▶日時 12月9日(土)正午~午後5時30分▶行き先 ウトロ平和祈念館(京都府宇治市)▶集合 ときわ湯前(東116)▶定員 25人▶参加費 無料▶締切 11月27日(月)



メール

ちょっと豪華なクリスマス☆



▶日時 12月19日(火)午前10時30分~午後1時▶内容 フライパンでローストビーフ、キャロットスープ、オレンジヨーグルトゼリー、温野菜のリースサラダ▶講師 西谷仁美様、米田徳子様(管理栄養士)▶定員 14人▶材料費 1,000円▶持物 エプロン、三角巾、飲物、手ふきタオル▶締切 12月11日(月)



メール

自然遊学館

☎072-431-8457

火曜休館

メール: shizen.desk@icloud.com

自然遊学館30周年記念×企業コラボ タツノオトシゴのリースを作ってみよう!

日本紙工(株)様(市内企業)とのコラボイベントです。ダンボールならではの温かみのある自然素材で、クリスマスにもお正月にも活躍できるタツノオトシゴのリースを作ります。

▶日時 12月17日(日)午前10時~11時30分

▶場所 館内多目的室▶対象 小学生以上(小中学生は保護者同伴)▶定員 10人(多数の場合は抽選)▶参加費 700円▶申込 11月30日(木)までに住所(番地以下不要)・氏名(参加者全員)・学年を記入しメール・窓口で



蕎原の森で人工林の間伐体験

氏名(参加者全員)・学年を記入しメール・窓口で

森を育てるための間伐を体験してみよう。伐ったヒノキはお風呂に入れるのもあり。乾燥させた後、自然遊学館では自然生態園の杭として利用します。

▶日時 11月19日(日)午前10時~午後3時(雨天中止)▶場所 蕎原の森▶集合 府立少年自然の家駐車場▶対象 小学生以上(小中学生は保護者同伴)▶定員 20人(多数の場合は抽選)▶申込 11月14日(火)までに住所(番地以下不要)・

二色の浜 ビーチコーミング調査

二色の浜の砂浜には、いろいろな漂着物が打ち上げられます。どんな漂着物があるか調べます。

▶日時 11月4日~来年3月2日、第2土曜午前10時~11時30分(雨天中止)▶集合 近木川河口潮騒橋▶申込 不要

生きものだいすき! 「ウスモンナギサズ」

思い切った生き方

夜の波打ちぎわ、テトラポットの上で何か小さな生きものが動いたら、あなたは何かとご想像しますか?フナムシ?

ウスモンナギサズという日本固有種のコオロギの仲間です。テトラポットや岩礁をすみかとしていて、翅(はね)をもたないので鳴きません。夜行性で魚介類などの死体などを食べています。なんとも不思議なコオロギです。なぜ、彼らはそういう生き方を選んだのでしょうか。



(自然遊学館によく来館されるかたのイラストです)

本来、コオロギなどのバッタの仲間は、求愛のための美しい鳴き声をもつように進化したはずですが、風と波の音で、鳴き声なんて聞こえないからその技を捨てたのか?そして、なによりも昆虫は移動手段として翅を獲得した生きものです。むしろ、ベタつく波しぶきの近くでは邪魔になるのか?一度獲得したものを捨ててまで、自然界を生きぬくための取捨選択、小さな体に秘められたなんて度胸ある思い切った生き方をするのでしょうか。

なぜだろう?もしかしたら?そんな目で昆虫の小さな世界をのぞいてみてください。それはきっと、とても心豊かな時間になるはずですよ。

問合せ先 自然遊学館 ☎072-431-8457

人権を守る市民のつどい 「災害における報道の裏側と人権」

ニュース番組で取り扱う事件の容疑者や被害者の人権、被災者の人権など、報道の中ではさまざまな人権への配慮が必要です。

アナウンサーとして報道に携わってこられた笠井信輔様に、被災地取材での貴重な体験談とともに、テレビでは語られなかった現実、報道のあり方と人権への配慮についてわかりやすくお話していただきます。

▶日時 12月8日(金)午後1時30分~(午後1時開場)▶場所 コスモシアター中ホール▶講師 笠井信輔様(フリーアナウンサー)▶定員 450人(先着順)▶入場 無料▶申込 不要

※手話通訳、要約筆記付き

問合せ先 人権政策課 ☎072-433-7160、Fax072-433-7511 ID: 13838



人権週間における取組みの1つとして、水間電車の車両前後に装着されるヘッドマークのデザインに、木島西幼稚園ひまわり組の園児が共同で作成した人権ポスターを使用しています(一部の車両)。

12月1日~10日の期間、水間電車を見かけたときは、ぜひご覧ください(昨年の児童作品も再掲します)。



作品に込めた思い 木島西幼稚園長

(令和5年3月31日閉園)

「絆が強くなった親子遠足」 親子遠足では、お家のかたと一緒に遊んだこと、お弁当を食べたこと、ゲームをしたこと、みんなで繋がって大きな滑り台を滑ったことなど、全部を楽しんでいました。作品の制作中もいろいろな場面を思い出しては「先に滑ったでな」や「お尻があつかった」など、みんなでその時の会話をして盛り上がりました。

作品作りを通じて、クラスみんなで過ごした楽しい時間を思い出して「友だちと遊ぶことは楽しい!」という思いが広がり、これまでに以上に強い絆が生まれました。

友だちや家族との絆から、人権の大切さを知る

水間電車のヘッドマークに 園児作品の人権ポスター